



西九州自動車道路の北波多IC開通によせて

私の住む唐津市北波多上平野地区は、29世帯の小さな集落です。数年前に西九州自動車道が上平野地区を通過すると聞いたときには、まだ実感が湧いてきませんでした。それから唐津地区の工事が進捗し、当地区の工事説明会が開かれ具体的な工事計画書などを見たとき、完成を実感し早期開通を待ち望んでいました。



唐津市北波多上平野区長 金丸 敏彦

西九州自動車道の整備により、産業、文化など新たな地域づくりにも大きな影響があり、各種の事業が期待されます。

北波多ICは、東は佐賀県中部から西は唐津市の上場地区を結ぶ重要な地点にあります。この道路の完成で、福岡市と短時間で結ばれることが、夢でなく現実のものとなりました。

北波多には貴重な文化財が多く、特に重要なものとして、中世の山城を残す「岸岳城址」や唐津焼発祥の地を示す「岸岳古窯跡」などがあり、現在も多くの窯元でその伝統が受け継がれています。

北波多ICが開通して交通の便が良くなることで、物流や人的交流が盛んになり、地域の発展が大いに期待されます。

北波多ICが出来ても通過するだけでは何の意味もありません。北波多ICを利用して、地域の発展につながる施策を実現させてほしいものです。

計画から十数年の長きにわたり工事も難航しましたが、用地提供者及び地元住民の協力や佐賀国道事務所関係者の努力により、無事に完成の日を迎えたこと、心から感謝申し上げる次第です。

MESSAGE



夢・感動そして出会い 未来へふくらむ「西九州自動車道」への期待

西九州自動車道は、人・物・情報の交流拠点である。

今、伊万里市山代町波瀬地区では、山代IC(仮称)〜今福IC(仮称)間(5.5km)の平成26年度供用を目指して工事が着々と進んでおり、西九州自動車道への期待と希望の槌音が響いております。



伊万里市山代公民館長 川田 宏

昨年、「伊万里港」が日本海側拠点港に選ばれました。伊万里市山代町浦之崎地区の港は、水深18m以上もあり天然の良港といわれております。西九州自動車道の山代IC(仮称)と、これからの伊万里湾開発とが連携を図ることができれば、伊万里市はもとより山代町開発事業に対する地域住民の期待は大きく、企業誘致や伊万里港の活用と山代西部地区の開発に望みを託しております。

西九州自動車道には、大きな夢と期待があります。

人・物・情報の交流により、流通のスピードアップが図られるとともに、伊万里港にコンテナターミナルが増設されると、西九州自動車道を活用した広域的な物流を支援することが出来ます。また、西九州自動車道は、災害時の防災機能や救急医療活動の支援など、私たちの日常生活の利便性も向上します。

観光をもっと身近に感じることができ、観光元年にふさわしいまちづくりが期待できます。子ども達の夢を乗せて快適に走る、西九州自動車道の日も早い開通を願っております。

西九州道の現場で働く人達の声

工事関係者の皆様に感謝

唐津伊万里道路(唐津千々賀山田IC〜北波多IC)が3月23日、無事に開通いたしました。



佐賀497号 上平野地区改良工事 唐津地区工事安全協議会会長 岡本建設(株) 圓城寺 稔

地域の方々や発注者、受注者、下請業者全ての人々の協力の賜物と深く感謝申し上げます。「この道路ができて良かった」と皆様に喜んで頂けるように、全業者が必死で工事完成を目指しました。施工中は、開通後の地元の方々への配慮を第一に考え、取付部の土砂流出や濁水流出対策が施されているかの確認、防草対策の確認を入念に行いました。

技術管理の面では、左記の項目に特に力を注ぎました。

☆情報化施工の取組「TS出来形による盛土管理」:出来形管理に費やす作業時間の短縮ができました。

☆いきいき現場向上会議:発注者、設計コンサル、受注者が一体となり、問題点を早急に解決し円滑な施工ができました。

☆北波多工程会議:毎週水曜日に関連業者にて綿密な工程打合せを行いました。

最後に、これだけ混在した作業の中、無事故・無災害で工事完了し、無事に開通できたこの現場で学んだ貴重な経験を糧に、これからもみんなに感謝される道路づくり、土木技術者を目指したいと思ひます。



▲完成した唐津伊万里道路

情報化施工による施工精度の向上

唐津伊万里道路(唐津千々賀山田IC〜北波多IC間)の開通に向けて、より品質・精度の高い道路を作ろうと今回、モーターグレーダーによるマシンコントロールシステムを採用し施工を行いました。

マシンコントロールシステムとは、設計データをもとに自動追尾トータルステーションからの位置情報を利用して重機のガイダンスやコントロールを可能にします。簡単に申しますと、設計データを作成しコントロールボックスへ読み込みを行うことでモーターグレーダーの排土板が自動抑制を行い点管理で施工が可能となります。

その為、従来の熟練オペレーターでの操作が不要となり丁張り間をコントロールしますので仕上がりも向上し、より品質・精度の高い道路が完成した事と思ひます。又、発注者・受注者が一体となり現場見学会を開催する事で、今後の普及に向けより一層前進した事と思われれます。

今回工事では、複数業者間の週1回の工程調整会議を開催する事で各業者間の進捗状態を把握を行うとともに、発注者の方々には、業者間のすり合わせ・調整をして頂きました。又、地域の皆様の工事に対する御協力・御理解を頂き、大変感謝しております。

今回完成した道路が、地域の皆様にとって利便性の良い、地域の活性化となるよう願っております。



▲モーターグレーダー施工状況

地域のイベントのお知らせ. Includes illustrations of people and musical notes.

Calendar table with columns for month (4月, 5月), dates, event names, and locations.

編集後記

今回の開通区間の唐津市北波多地区については、平成22年梅雨期の大雨により、地すべりの兆候が見られたため、平成23年7月に学識経験者等からなる「北波多地区のり面対策検討委員会」を設立し、十分な安全が確保できる対策工事について技術的妥当性の確認を行いました。

この対策工事の設計・用地買収・工事に2年程度を要することから、唐津千々賀山田IC〜北波多IC間の開通予定を当初の平成23年度から平成25年度に見直しを行いました。用地買収における地権者の皆様方のご理解とご協力と工事施工における徹底した工程管理と安全管理から、全体工期の短縮が図られ、開通時期を前倒して平成24年度中に開通することができました。